

# 令和6年能登半島地震における京都DWAT派遣について（概要）

## 【派遣期間】

令和6年1月8日（月）～3月29日（金）（2名体制4日交代）

## 【派遣人数】

延べ41名（予定）

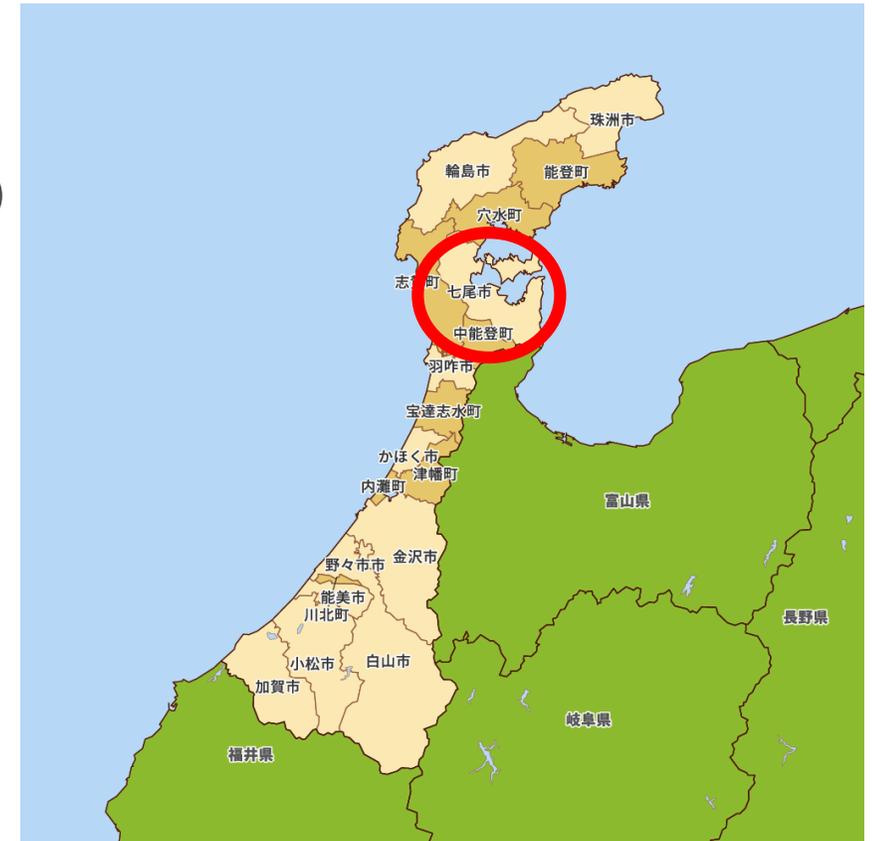
## 【活動場所】

石川県七尾市内

## 【活動内容】

- ・現地DWATの活動支援、七尾市対策本部及びDWAT本部※との調整（ロジ業務）
- ・七尾市内の一般避難所に係る運営支援 等

※ 石川県庁内（石川県金沢市）に、県と災害福祉支援ネットワーク中央センターが設置



## 京都DWAT派遣に係る経過

日 程	内 容	発出元
1月1日(月)	・令和6年能登半島地震発生	
1月2日(火)	●チーム員あて情報共有(第1報)	●京都DWAT事務局
1月3日(水)	●中央センターへ情報共有依頼 ●チーム員あて情報共有(第2報)	●京都DWAT事務局
1月5日(金)	○災害派遣福祉チームの派遣依頼 ●チーム員あて情報共有(第3報)	○石川県 ●京都DWAT事務局
1月6日(土)	○中央センターアドバイザリーチームが現地入り ○中央センターから初動派遣の打診(第1班) ●派遣経験者1名の1月8日からの派遣を調整	
1月7日(日)	○災害派遣福祉チームの派遣依頼 ●チーム員あて派遣調整(第2・3班) 初動派遣に続き、派遣経験者2名の派遣を調整	○中央センター ●京都DWAT事務局
1月8日(月)	●チーム員あて派遣依頼(第4班～第11班) ●京都DWAT派遣開始 (1月10日から2名体制、4泊5日※前日移動、4日間活動)	●京都DWAT事務局

→ 以降、約3ヶ月にわたってバトンをつないでいただき、3月29日(金)をもって活動終了を予定

# 京都DWAT派遣者の内訳

- 過去の派遣では、4人又は5人1班編成であったが、今回の派遣では、他府県DWATと合同で活動することから、災害福祉支援ネットワーク中央センターからの依頼に基づき、**派遣経験のある自治体として、2名体制（4泊5日）で他府県DWATの活動支援と本部との調整業務を担うこととなった。**
- 班編成については、以下を考慮し実施
  - ・派遣経験を活かした活動（派遣経験者18名が活動）が求められる
  - ・2名という限られた体制
  - ・地理的状况から、2クールに1人は車の運転ができることが必須
  - ・上記が優先されることから、職種や専門性を考慮した班編成は難しい。
- 所属施設の内訳  
高齢分野26名、障害分野10名、その他5名（精神福祉 等）
- 所有資格  
介護支援専門員21名、介護福祉士21名、社会福祉士23名、精神保健福祉士4名、保育士2名、相談支援専門員3名 他※複数資格者あり

# 七尾市における活動シフト

七尾市内で**全11府県**がバトンをつなぎながら支援を実施

1月： 6府県（岡山県、静岡県、富山県、青森県、千葉県、京都府）

2月： 10府県（岡山県、富山県、青森県、千葉県、宮城県、茨城県、群馬県、石川県、愛媛県、京都府）

3月： 4府県（富山県、石川県、群馬県、京都府）

【参考】

平成28年熊本地震（熊本県益城町）：3府県（熊本県、岩手県、京都府）

平成30年西日本豪雨（岡山県倉敷市）：5府県（岩手県、青森県、群馬県、静岡県、京都府）

チーム	1月																															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
京都府							1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
静岡県								2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	2											
岡山県										1	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
富山県												4	4	4	5	4	3	3	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
青森県																				3	3	3	6	3	3	6	3	3	6	3	3	
千葉県																									4	8	4	4	4	4	8	5
計							1	1	4	5		12	11	12	11	11	10	12	12	9	14	9	14	20	14	13	17	17	17	17		

# 七尾市における活動シフト

チーム	2月																												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
京都府	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
岡山県	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2													
富山県	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3													
千葉県	5	5	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5													
茨城県																4	4	4	4	3	3	3	3						
群馬県																					1	1	1	1	2	1	1	1	1
石川県																						4	4	4	4	4	4	4	4
愛媛県																								3	3	3	3	3	3
青森県	6	3	3	3																									
宮城県				3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
計	18	15	20	18	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	19	9	9	9	8	9	13	13	13	16	13	13	15	9

チーム	3月																														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
京都府	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
富山県	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3															
石川県	4	6	3	3	6	4	4	5	2	2	4	3	3	3																	
群馬県								1	1	1	2	1	1	1																	
計	9	11	8	9	11	9	9	11	8	8	11	9	9	9	5	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

# 七尾市における活動状況（全体）

## 初動支援：1月 8日（月）～11日（木）

- ・DMAT、七尾市福祉担当課等とDWATの活動体制の協議
- ・保健師チーム（他府県応援）と合同での避難所支援を調整
- ・静岡DWAT・京都DWAT第2、3班が合流
- ・保健師チームとともに、市内避難所の状況確認

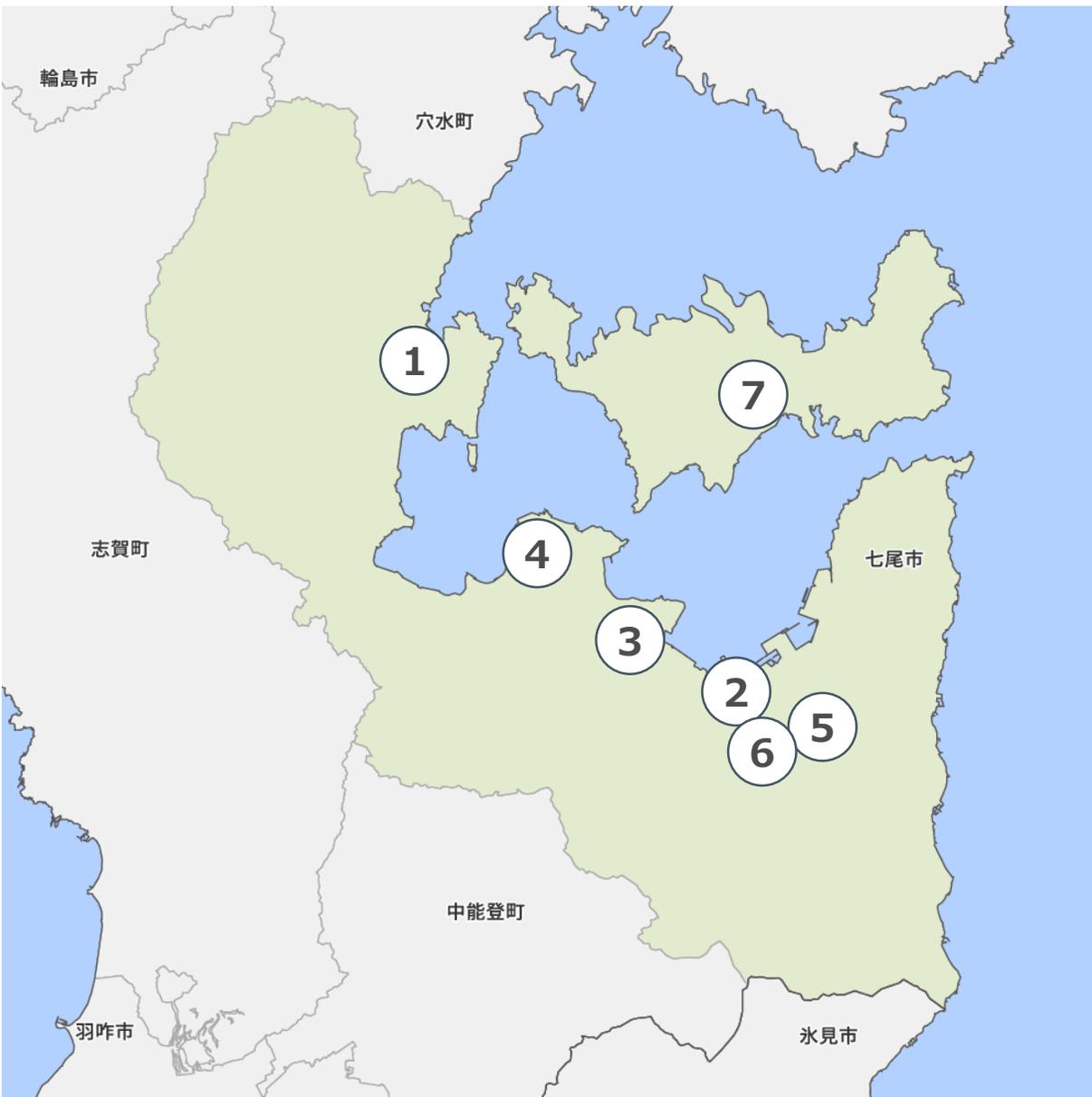
（参考）七尾市避難所開設状況 33カ所 2,073名

※令和6年1月8日14時時点

## 避難所における常駐・巡回支援：1月12日（金）～

- ①中島小学校  
（1/12～富山DWAT常駐）
- ②御祓地区コミュニティセンター  
（1/15～青森DCAT常駐）
- ③西湊地区コミュニティセンター  
（1/18～岡山DWAT、京都DWATが巡回）
- ④和倉小学校  
（1/25～千葉DWATが常駐）
- ⑤矢田郷コミュニティセンター  
（2/1～巡回）
- ⑥山王小学校  
（2/5～巡回）
- ⑦能登島生涯学習センター  
（2/28～巡回）

※このほか必要に応じて、巡回等対応



# 第1次派遣から第3次派遣までの流れ

## 【第1次派遣】1月8日（月）～1月31日（水）

### DWATとしての支援の仕組みづくり

- ・計11名派遣（初動支援要員1名を含む）
- ・避難所の設置・運営が進められる中、避難所運営者等に対しDWATの役割をお伝えするとともに、行政担当者や他支援チームと意思疎通を図りながら支援の仕組みを作っていく。
- ・全国のDWATが一つのチームとして一丸となり、取組を進める必要性。

発災1週間～1ヶ月

## 【第2次派遣】1月29日（月）～2月29日（木）

### 地域リーダーを中心とした

### 全国のDWATの体制づくり

- ・計15名派遣
- ・多数のDWATが活動している状況を受け、現地の指揮命令系統の確立のため、地域リーダー制を導入
- ・京都DWATは、2月1日から七尾の地域リーダーとして活動

～2ヶ月

## 【第3次派遣】2月29日（木）～3月29日（金）

### DWATの支援を地域に引き継いでいく

- ・計15名派遣
- ・3月中旬までに一般避難所の集約が一定進み、市内の支援ニーズが落ち着いてきたことから、これから続く支援を地域につないでいく。

～3ヶ月

# 活動の流れ

## 一日の流れ（2月）



7:30	宿泊場所出発	富山県高岡市内ホテル（移動時間 約1時間～1時間30分）
9:30	支援者全体ミーティング	行政、保健師、DMAT、日赤、JRAT等が参加
	七尾市DWATミーティング	各府県DWATとの情報共有等
9:50	各府県DWATは常駐避難所 京都は巡回を開始	
10:10	巡回避難所での活動	運営管理者から情報収集
11:00	DWAT常駐避難所へ巡回	富山DWATと情報共有
13:00	巡回避難所での活動	健康福祉ミーティングへ参加 （生活支援Co、保健師、日赤、介護支援等のチームが参加）
14:10	DWAT常駐避難所へ巡回	宮城DWATと情報共有
16:00	支援者全体ミーティング	
	七尾市DWATミーティング	
16:30	地域リーダーミーティング （奇数日に開催）	石川県本部との情報共有（30～60分） （七尾市、中央センター、京都DWAT事務局等が参加）
18:45	宿泊場所着	

# 京都DWATの活動（第1次派遣）

## 【第1次派遣】1月8日（月）～1月31日（水） DWATとしての支援の仕組みづくり

- ・計11名派遣（初動支援要員1名を含む）
- ・避難所の設置・運営が進められる中、避難所運営者等に対しDWATの役割をお伝えするとともに、行政担当者や他支援チームと意思疎通を図りながら支援の仕組みを作っていく。
- ・全国のDWATが一つのチームとして一丸となり、取組を進めるため、京都DWATは、派遣経験のある岡山県、静岡県と連携し、現地DWATの活動支援、七尾市対策本部及びDWAT本部※との調整等を担う。
  - ①七尾市活動の連携充実化・各都道府県DWATの業務調整
  - ②各都道府県DWAT活動場所の拡大
  - ③後続チームへのミッション提示

発災1週間～1ヶ月

活動場所の調整



保健医療福祉調整本部への参画



他専門職チーム等との活動調整



## 【一次派遣における課題】

### ・ 活動内容の標準化

複数の都道府県DWATが引き継ぎながら活動を行うに当たっては、支援を行うDWAT全体の活動方針や内容が共有されていることが重要。

A県は〇〇という方針、B県は〇〇という方針といった活動では継続性のある支援は困難。

被災府県や中央センターの方針に沿って、「DWATの役割とは」、「今回の派遣におけるミッションは」、「今のフェーズですべきことは」などを共有し、様々な府県からの派遣であっても、一つのチームとして活動することが重要

→ **引き続き、活動内容や方針の標準化に取り組みたい。**

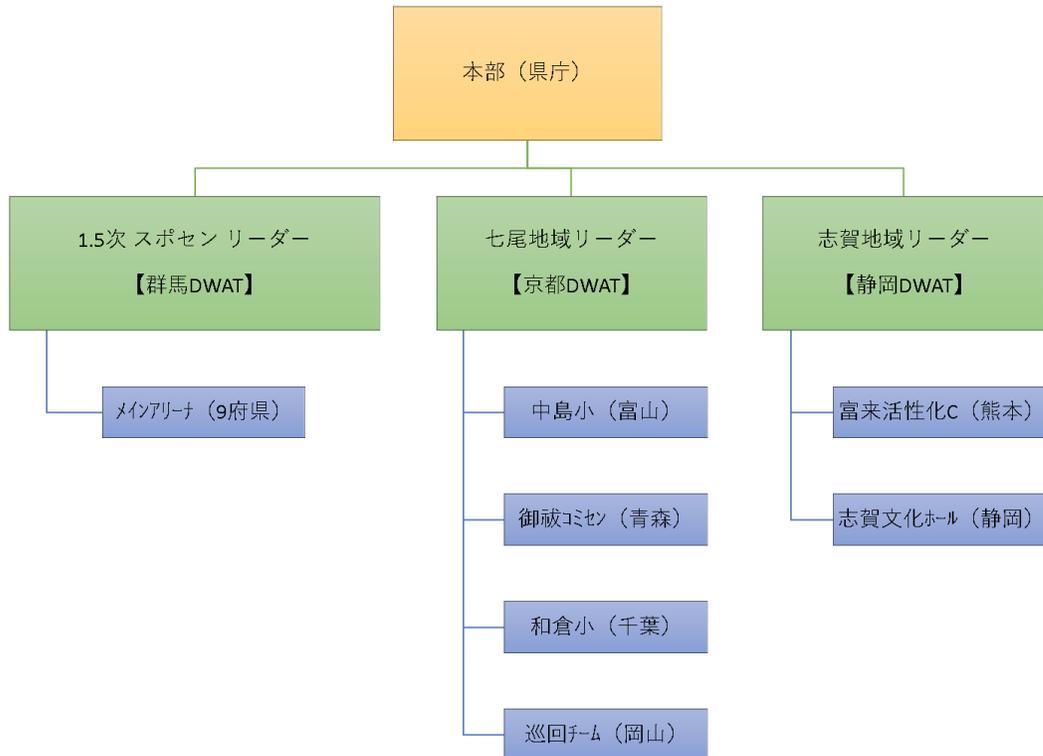
# 京都DWATの活動（第2次派遣）

【第2次派遣】1月29日（月）～2月29日（木）

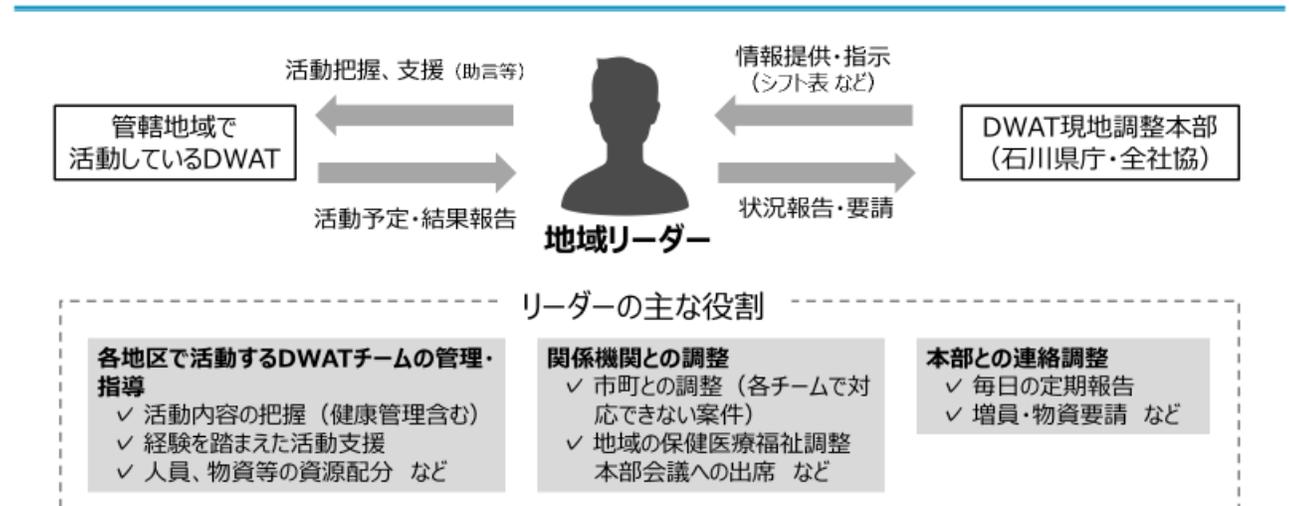
地域リーダーを中心とした全国のDWATの  
体制づくり

- ・計15名派遣
- ・多数のDWATが活動している状況を受け、現地の指揮命令系統の確立のため、地域リーダー制を導入
- ・京都DWATは、2月1日から七尾の地域リーダーとして活動

2ヶ月



## 地域リーダーの概要・役割



※リーダー本人が直接作業に従事すると全体のオペレーションに影響するため、極力管理業務に専念すること！（手が足りない場合は本部に増員要請するなど協議）

### 【二次派遣における課題】

- ・ **支援の中で生まれた新たな取組の共有と対応**

1月末から2月にかけて、新たに地域リーダーという役割が示されたが、これまでに研修・訓練等を行ったことがない仕組みであり、軌道に乗せるまでに時間を要した。

- ・ **現地本部、派遣者、各都道府県事務局間の情報共有**

現地本部や他都道府県事務局等と意見交換できる機会も少なく、意思疎通の難しさを感じた。チーム員からの相談等に対して、各都道府県事務局として、現地の指揮命令系統の外からどこまで助言すべきか課題を感じた。

→ **今回の状況を踏まえ、複数都道府県の支援を想定した仕組みづくりが必要**

## 京都DWATの活動（第3次派遣）

**【第3次派遣】 2月29日（木）～3月29日（金）**

**DWATの支援を地域に引き継いでいく**

- ・計15名派遣
- ・引き続き地域リーダーとして活動
- ・3月中旬までに一般避難所の集約が一定進み、市内の支援ニーズが落ち着いてきたことから、これから続く支援を地域につないでいく。
  - ①避難所集約前後における、避難者のストレスへの対応
  - ②これまでの情報を集約し、地元へ引き継ぐ準備

3ヶ月

○派遣開始時に33か所あった避難所は、17カ所 避難者数476人（令和6年3月15日）に減少  
○3月中には8カ所程度まで避難所を集約予定であり、避難所の集約による環境変化への対応を行い、七尾市からはDWATが撤退予定



3月14日に石川DWAT、群馬DWATが活動終了

3月16日に富山DWATが活動終了

3月29日の京都DWATの活動終了をもって、七尾市での活動は終了

### 【三次派遣における課題】

- ・ **フェーズごとのDWATの役割について改めて、研修・訓練が必要**

被災自治体の職員の方は不安が残る中での撤退ともなることから、本部と被災自治体間で、DWATとしての役割等について丁寧に伝え、撤退の調整を行うなどが求められる。

撤退に向けては、地元に取り残された支援が実施できるように、地元DWATが被災地への引継ぎを行う、スポット対応できる体制を整えるなど、支援終了後のフォロー体制を含めた準備が事務局として必要と感じた。

→ **他府県応援から地元対応への繋ぎについて検討していきたい。**

## 最後に

派遣経験府県とは言え、チーム員の中には初の派遣の方もいるなか、各府県のチーム員の皆様の協力により七尾市での派遣活動を終えることができました。

長きにわたりともに活動していただいた、各都道府県DWATの皆様、事務局の皆様に改めて感謝いたします。

今回の派遣を通して、改めて平時からの都道府県を超えた連携や受援体制の整備の必要性を認識しました。

引き続き、被災地支援のため、全国で力を合わせて災害福祉支援に係る体制整備を進めたいと思います